文京区議会 品田ひでこリポート Report
[品田区議会議員の政策と活動を紹介します]
2014年11月 第77号
■発行／文京区議会 改革ぶんきょう 〒112-0003 東京都文京区春日1-16-21 TEL.03-3811-3570 FAX.03-5803-1316 http://www.shinada.ne.jp/

文京区議会議員 品田ひでこ

【品田ひでこプロフィール】1954年東京生まれ。文京区立柳町小・第五中学校卒業。都立向丘高校卒業。駒澤短期大学卒業。明治大学公共政策大学院修士課程（公共政策学）修了。平成３年より区議会議員、現在は総務区民委員会委員長。キャリアカウンセラー（CDA認定）コーチングコーチ（CTP認定）、地域では少年サッカークラブ主宰、町会役員など。

文京区議会　9月定例議会報告

品田ひでこのイメージキャラクターです

「おかしい！」と訴え、「こうしてみては？」と政策提案

▶９月５日～10月20日の定例議会が終了しました。９月10日会派を代表して本会議一般質問に立ちました。また、10月1日からの決算審査特別委員会では、監視を強め鋭く多岐にわたり指摘しました。質問や答弁をダイジェスト版で報告します。

子育て　現状や区民の声

- ➡「産休」「育休」を取得して子育てし、翌年４月に職場復帰したくても「えっ！区立保育園に入れない」
- ➡自営業者は外勤者より入所基準点が2点も低いのは納得いかない。
- ➡兄弟で別々の保育園、転園希望出してもなかなか一緒になれない。
- ➡育成室（学童保育）も入れない。

質疑01 育休とって、なぜ保育園に入れないの？

品田区議 ①保護者のニーズは多様です。制度と現状にギャップが生じています。実情に合わせた保育制度で待機児の解消をすべきです。②保育の不安や悩む保護者に、そのニーズに合った保育園や子育てサービスを選び受けられるよう、最後まで保護者に寄り添った「保育サービスアドバイザー」（専門家）を準備すべきです。

区　長 ①認可保育所の積極的な誘致と入所基準を改善します。②現段階は「保育アドバイザー」導入は難しいが、窓口で丁寧に対応します。

成　果 ① 平成27年度に認可保育園４園を開設します。②平成27年度４月の申請期間前倒しや保育園をより多く選べるように制度改正や入所基準の改定が実現しました！

＜その他の質疑と成果＞

- ◆育成室の増設は喫緊の課題、早急な対応を求める。
  - ➡来年４月駕籠町小内、柳町小内に新規開設。
- ◆「プレミアムお買物券発行」は、お店もお客もメリットがある。事業の継続と拡充を求める。
  - ➡発行回数の増加や利用期間拡大など含めより効果の高い事業になるよう、区商連と協議する。
- ◆「キャリア教育」を学校現場に根づかせるべき。
  - ➡中学校校長会、教育研究会等に活用を促す。

介　護　現状や区民の声

- ➡特別養護老人ホームの待機者は現在659人、待ったなしは80人。
- ➡ケアマネジャーさんは時間が限られている。親の介護で仕事を辞めざる得ない状況に来ている。
- ➡「介護離職」は全国で年間10万人、働き盛りの40代・50代が仕事を辞めると日本経済に大きな影響を与えることになる。

質疑02 「介護と仕事の両立支援」「介護離職」対策を

品田区議 『介護と仕事の両立支援』を区としてもっと積極的に取り組んで頂きたい。来年度の事業に具体的な提案がはっきり見えてこないことに、実に残念な思いです。具体的には、区内事業所に対して、従業員の介護休暇の取得と啓発、及び区が行っている『介護と仕事の両立支援』事業のメニューを増やすべきと要望します。

区　長 新たな「高齢者・介護保険事業計画」（平成27年～29年）の中で充実させます。

質疑03 2020年オリンピック・パラリンピックに向けて観光のチャンスです

品田区議 ①東京オリンピック開催に向けて、観光や文京区をもっとアピールすべきです。文京区発行のバイク等に「文京区ご当地ナンバープレート」（希望者・寄付金つき）の導入を提案します。これにより、観光のPRや交通安全の基金にしてみては如何でしょうか。②ハラール認証のお店や商品を誕生させられるように、まずは研修会を開催すること、そして、区としてハラール認証の手続きの支援をすべきです。

区　長 ①ご提案は、地域振興や観光振興、地域連帯感の形成に有効です。寄付金付加も含めて多角的に検討します。②ハラール認証の研修会の開催を視野に入れて、東京商工会議所と協議して検討して行きます。

決算委員会（平成25年度分）

品田ひでこの委員会での意見や主張をお知らせします。日頃区民の皆さんから頂いた要望や暮らしの声を伝えます。

←委員会室ではこんな感じで
意見・要望を訴えています（写真禁止）

1 **「プレミアムお買物券」**はお店もお客もメリットがあることが確認された。「一年中使いたい」「店のPRになる」などの声に応えて「お買物券」の発行回数や発行総額を増やすなど効果をさらにあげられるように、区として区商連が事業を拡充できるように、支援していただきたい。

2 **「母親・両親学級」**の受講希望者が増えていて、希望に沿えない状況（満杯）があるのは残念である。学級数を増やし、生まれてくる子どもを健やかに育てられるよう、母親やイクメンへの指導の拡充を要望する。

3 **「学校施設の開放」**は、まだまだ開放をしていただきたい校庭や体育館・プールなどがあると考える。特にオリンピックに向けて、スポーツ推進や子育て支援などにもっと積極的に開放していただき、十分有効利用できるよう努力されたい。

4 **「B-ぐるコミュニィバス」**は、たいへん人気があり利用者も増えている。利用者からの声もたくさんあがってきているので、利便性や利用率向上となるよう見直しを進めていただきたい。

5 **「女性特有のがん検診」**は、区民が土・日や平日の夜間など受診ができるように診療機関のご協力をいただいて、受診率アップにつながるよう環境整備をしていただきたい。

成澤区長に平成27年度の予算要望（9月30日）

決算審査特別委員会（10月1日～20日開催）

その他に

- ◆特別養護老人ホームの増設を求める。
- ◆街路灯のLED化を促進すること。
- ◆電気自動車急速充電スタンド設置の早期実現を求める。
- ◆家庭的保育事業（保育ママ）やグループ保育室の保育料は、短期就業者には負担が重い。新制度移行を機に保護者負担を所得に合わせた料金に改定すべき。

品田ひでこ　いきいき活動報告

区内で開催される区の行事や地域のイベントにも積極的に参加やお手伝いさせていただいています。

7月3～4日　総務区民委員会　委員会視察

●熊本県「くまモン」戦略と佐賀県武雄市の樋渡啓祐市長のマネジメントを学びました。

公共品質マネジメントフォーラム視察

●仙台市若林地区・名取市閖上（ゆりあげ）地区の被災地住民のリーダーとして活躍してきた松山和尚にヒアリング。翌日は、菊池啓夫市長の迅速な対応で復興進捗度トップの岩沼市へ視察。

8月2～3日

7月27日

夏の避難所　総合訓練
（磯川小学校）

7月19～20日

文京朝顔・ほおずき市
（伝通院・源覚寺）

7月6～7日

（仮設商店街）

釜石市商店街連合会へ義援金お届けに（釜石市～石巻市）

●「プレミアムお買物券」事業の売上の一部を東日本大震災の復興支援協力金として、被災地の商業復興のために寄付に充てています。区商連の皆さんと一緒に直接届けに行きました。

10月18～19日

根津・千駄木下町まつり

ご意見・ご要望をお寄せ下さい　FAX.03-3816-2982　E-mail h-shinada@nifty.com

連絡先　**品田ひでこ 事務所**
〒112-0003　文京区春日2-18-7-803
TEL・FAX 03-3816-2982

https://www.facebook.com/hideko.shinada　https://twitter.com/shinadahideko
ぶんきょうコミュニティサイト（管理者：品田ひでこ）http://www.bunkyo-community.com

随時更新中
品田ひでこ公式ホームページ　http://www.shinada.ne.jp　品田ひでこ　検索